

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 18 年 3 月 23 日 (2006.3.23)

【公表番号】特表 2002-502827 (P2002-502827A)

【公表日】平成 14 年 1 月 29 日 (2002.1.29)

【出願番号】特願 2000-530232 (P2000-530232)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/21 (2006.01)

A 6 1 K 39/108 (2006.01)

A 6 1 K 39/295 (2006.01)

A 6 1 K 39/385 (2006.01)

A 6 1 K 48/00 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

C 0 7 H 21/02 (2006.01)

C 0 7 H 21/04 (2006.01)

C 1 2 Q 1/70 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 35/74 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/21

A 6 1 K 39/108

A 6 1 K 39/295

A 6 1 K 39/385

A 6 1 K 48/00

A 6 1 P 31/18

C 0 7 H 21/02

C 0 7 H 21/04

C 1 2 Q 1/70

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 K 35/74 A

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 1 月 25 日 (2006.1.25)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ヒト免疫不全ウイルス (H I V) タンパク質をコードする遺伝子に融合されたバクテリア表面上での発現のために必要な遺伝子を含む組換えプラスミドを含むヒト免疫不全ウイルス用の生ワクチンにおいて、前記組換え プラスミド が弱毒化されたバクテリアホストに電気穿孔法で組み込まれている生ワクチン。

【請求項 2】

表面露出のために必要な遺伝子が大腸菌 (E.coli) 外膜タンパク質 o m P A の一部に結合した大腸菌 (E.coli) リポタンパク質シグナル配列をコードする請求項 1 に記載のワクチン。

【請求項 3】

遺伝子がコードするヒト免疫不全ウイルスタンパク質が逆転写酵素及びトランスアクティベータータンパク質で構成される群から選択される請求項 1 に記載のワクチン。

【請求項 4】

弱毒化されたバクテリアホストがサルモネラ・ティフィムリウム (*Salmonella typhimurium*) の S L 3 2 6 1 株である請求項 1 に記載のワクチン。

【請求項 5】

治療を必要とするヒトに請求項 1 に記載のワクチンを投与するステップを含むヒト免疫不全ウイルス抗原に特異的な免疫応答を開始させる方法。

【請求項 6】

ヒト免疫不全ウイルス抗原が逆転写酵素及びトランスアクティベータータンパク質で構成される群から選択される請求項 5 に記載の方法。

【請求項 7】

免疫応答が粘液性 I g A 応答とヘルパー T 細胞応答を含むものである請求項 5 に記載の方法。

【請求項 8】

ワクチンが経口投与される請求項 5 に記載の方法。

【請求項 9】

ワクチンが約 10^{12} ~ 10^{14} C F U (コロニー形成単位) で投与される請求項 5 に記載の方法。